



## 初代神武天皇（カムヤマトイワレヒコノミコト）

大昔、高天原（天上）に神々があらわれ、男神のイザナギの命（ミコト）と女神のイザナミの命（ミコト）は夫婦となり、8つの島（淡路、四国、隠岐、九州、吉岐、対馬、佐渡、本州）を生み、さらにイザナギとイザナミは山の神、海の神、風の神と次々と生んだが、火の神の産後、イザナミは亡くなった。イザナギは愛する妻を連れ戻そうと黄泉の国へ行くも、変わら果てたイザナミを見て逃げ帰り、川で身を清めていると、アマテラスオオミカミ、スサノオの命、ツクヨミの命が生まれた。スサノオの命の子孫であるオオクニヌシの神は出雲を中心に地上をまわっていたが、高天原では、アマテラスオオミカミの孫、ニギハヤヒの命に地上を治めさせることに決まった。オオクニヌシは立派な神殿を出雲に建てることを条件に、日向にいるニギハヤヒの命に国を譲ることを承知した。ニギハヤヒの命の孫であるカムヤマトイワレヒコは天の靈力も身体にとり込んでいた。日向の狭野神社で生まれたカムヤマトイワレヒコは、15才から45才までを宮崎神社で過ごし、この国の人が豊かに暮らせるように」と日向をたち、大和へ向かった。都農神社、立磐神社で国土平安を祈り、美々津港から早朝に出発、大入島では島民がどんど火祭りで見送った。分後水道を通り、早吸日女神社で祈り、宇佐神社でもおもてなしを受けた。筑紫の神武天皇社に立ち寄り、岡田宮で一年滞在した。なにわの岬から河内国へ西から大和に入ろうとするもナガスネヒコとの戦いに敗れたため、進路を変更、大和に東から入るため南へと向かった。戦いで負傷した兄が男神社で亡くなり、釜山神社でまつられた。さらに南下し、熊野へ上陸、光輝く、那智の大滝を見つけ、神倉神社で583の石段、ゴトヒキ岩を昇った後、海の事故で二人の兄を亡くす。ヤタガラスの導きにより吉野から大和に入り、アマノ香具山の土を用いて戦勝祈願をし、いく多の豪族との戦いに勝利、鳥見山でナガスネヒコとの再びの戦いにも勝利、ついに大和を平定した。大和橿原において宮殿を建て、初代神武天皇として即位された。時は紀元前660年1月元旦（太陽暦では2月11日）。



2月3日は節分でした。実際に豆をまくことは出来ませんでしたがおやつに甘納豆を召し上がって頂き福豆の代わりにさせて頂きました。

また、ベトナムからの実習生の二人が鬼の扮装をして皆様と一緒に記念撮影をして、節分の雰囲気盛り上げてくれました。